

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	旭区
学校名	大宮小学校
学校長名	長井 久実

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大宮小学校では、第6学年 67名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科全ての教科で全国平均を上回ることができた。国語は5.2ポイント、算数は3.0ポイント、理科は2.9ポイント、全国平均を上回った。
 平均無回答率では、国語と算数で全国平均より下回っており、問われていることに対して、自分なりの考えを書く力がついてきている。
 国語科では、全ての項目において全国平均を上回る結果となった。
 算数科では、「C測定」の領域以外、全国平均を上回ることができた。
 理科では、A区分「粒子」を柱とする領域以外、全国平均を上回ることができた。
 算数科と理科の2領域については、課題としてとらえ、これから指導に生かしていく。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 全ての項目で、全国平均を上回ることができた。自分の考えを論理的にまとめたり、発表したりするなどの学習を全ての学習活動で取り入れてきた結果だと考える。
 課題としては、B書くことについて条件を満たさずに回答してしまっていることがあげられる。問われていることを正確に捉え、条件を満たした書き方とはどのようなものなのか学習するように努めていく必要がある。
 〔算数〕 A数と計算、B図形、C変化と関係、Dデータの活用、の内容において全国平均を上回った。児童の学習到達度を把握し、習熟度別少人数学習を進めた結果だといえる。
 課題としては、「C測定」について、問題場面を正確にとらえる力に課題があり、ミスにつながったことがあげられる。問題場面を具体的にイメージさせる力を養い、正しく解答できる力をつけていくよう取り組んでいく必要がある。
 〔理科〕 A区分「粒子」、B区分「生命」、B区分「地球」を柱とする領域については、全国平均を上回った。児童質問紙にも表れているが、問題に対して、自分の考えをもとに予想や仮説を立ててから検証する授業を確立しているためと考える。
 課題としては、A区分「粒子」を柱とする領域について、中学年で学習した内容について学習理解が十分でない部分が見られたため、普段から身の回りの不思議について関心意欲を高めさせていく必要がある。

質問調査より

本校が取り組んでいる「早寝早起き朝ごはん・メディア時間」にかかるわって、「朝食を毎日食べていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」などの項目に全国平均より肯定的な回答が多く、取組が生かされていることがわかる。また、「自分には良いところがあると思いますか」や「いいじめはどんな理由あっても許されないことだと思いますか」という項目について、肯定的に回答している割合が高い。これは、教職員が子供たちに寄り添い、良いところを褒め、伸ばしてきた結果に加え、家庭・地域が子どもたちを温かく見守っているからだと考える。「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」という項目に肯定的に答えている児童も多いことから、児童主体の合意形成の場が築かれていることがわかる。
 課題としては、全体として最も肯定的に回答する児童が少ないことである。本校の児童の特徴である謙虚さが影響している部分があるが、自分たちが実践していることを肯定的にとらえ、積極的に回答できるよう子どもたちの自尊感情を育てていく。さらに、ICT機器を活用した心の天気のチェックに加え、ICT機器を活用したよりよい指導法についても研修を深めていく。

今後の取組(アクションプラン)

○今年度は、体育科を研究教科に定め、実践を積み重ねている。課題の達成に向けては、主体的に考え、友だちとの対話的な交流が必要になってくる。「どうすれば達成できるのか、自分の考えを持ち、友だちとの交流を通して力を高める」ことをさらに意識し、研究を深めていく。
 ○どの教科においても、具体的にイメージさせ、自分の考えをしっかりと持たせる機会を多く取り入れていく。また、自分が考えたことをアウトプットすることで、より学習を深めることができるので、場の設定を工夫し、考えを表現する力、他者に伝える力をたかめていくようにする。
 ○一斉指導から自分たちで課題に焦点を当て、その課題を解決していく学習スタイルに移行していく。そのために、ICTを効果的に取り入れ、児童が様々な解決方法、表現方法を選び、個別最適な学習、共同的な学習が実現するよう努める。
 ○指導力を高めるために、教員研修を実施していく。ICT機器を活用した指導法について教員一人一人が積極的に研修に取り組み、児童に還元していく。

【 全体の概要 】

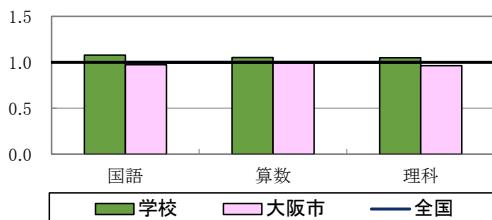
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	72	61	60
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

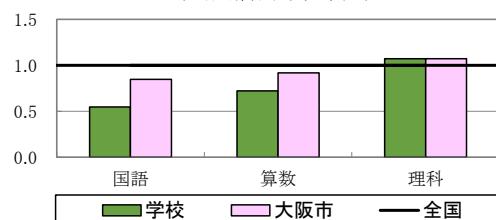
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.8	2.6	3.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



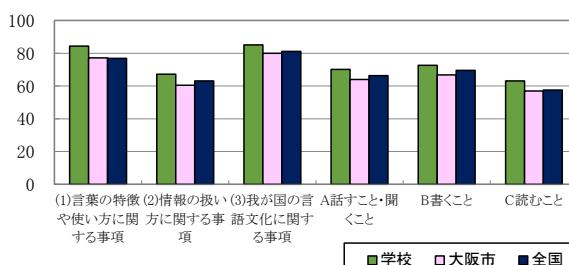
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	84.3	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	67.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	85.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	70.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	72.6	66.7	69.5
C 読むこと	4	63.1	56.9	57.5

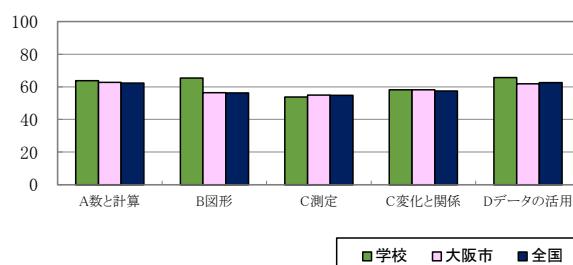
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.8	62.7	62.3
B 図形	4	65.3	56.4	56.2
C 測定	2	53.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	58.2	58.2	57.5
D データの活用	5	65.7	61.9	62.6

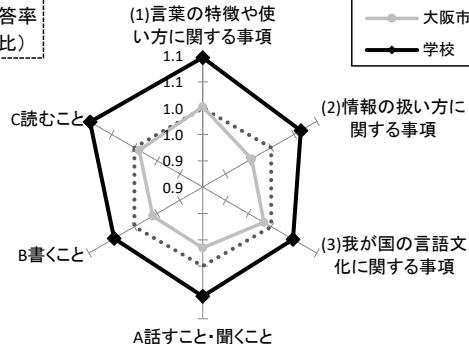
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



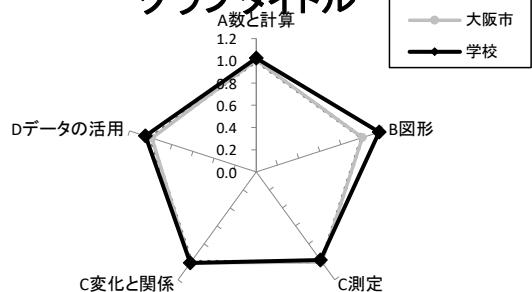
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

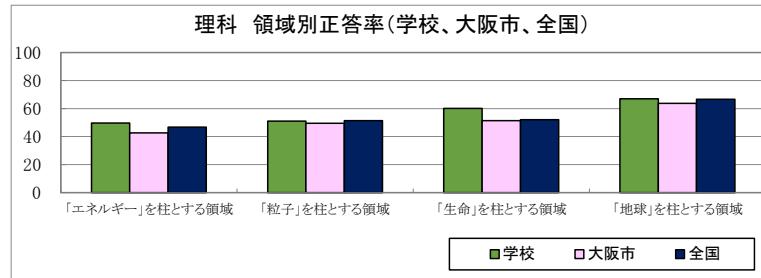


グラフ タイトル

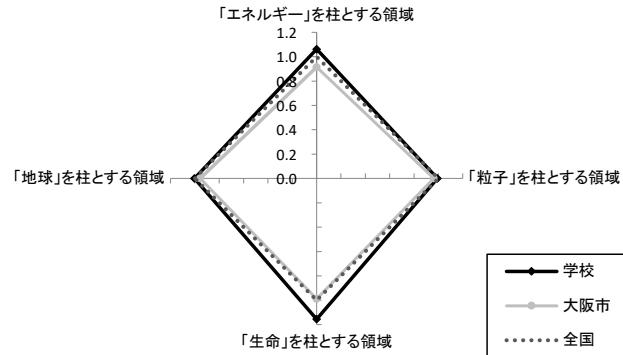


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	49.6	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	51.0	49.5
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	60.1	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	66.9	63.8



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

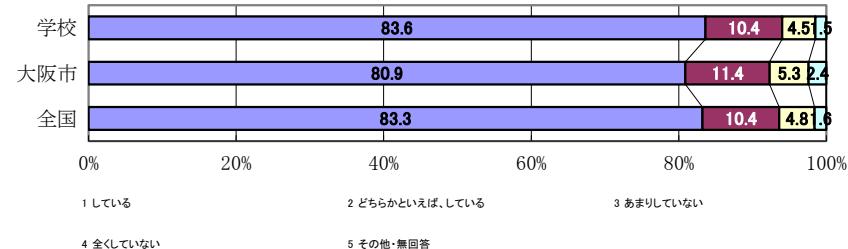
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

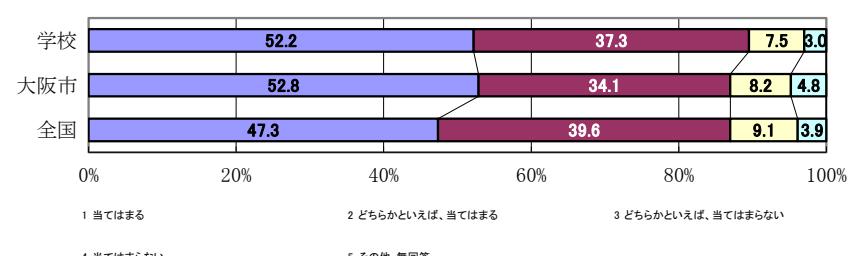
1

朝食を毎日食べていますか



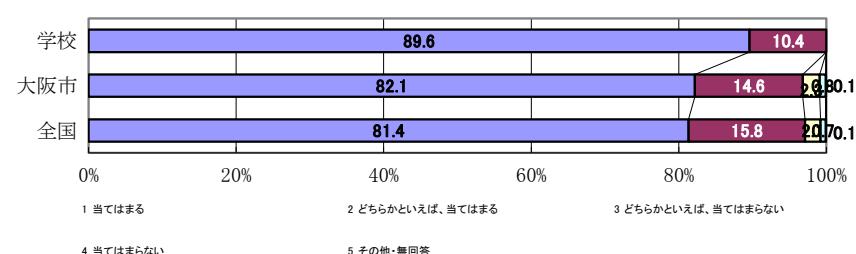
5

自分には、よいところがあると思いますか



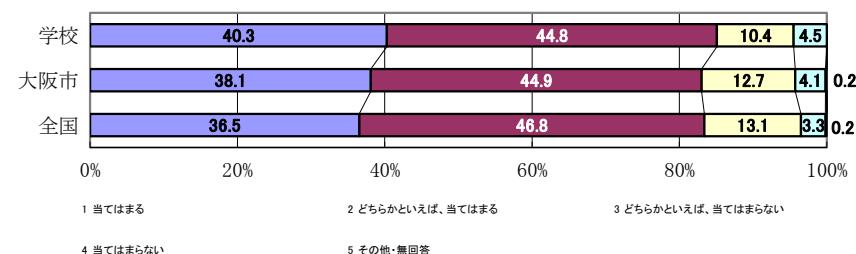
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



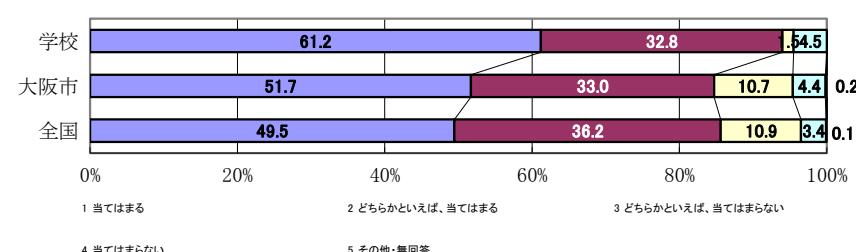
41

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



68

理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えていますか



学校質問より

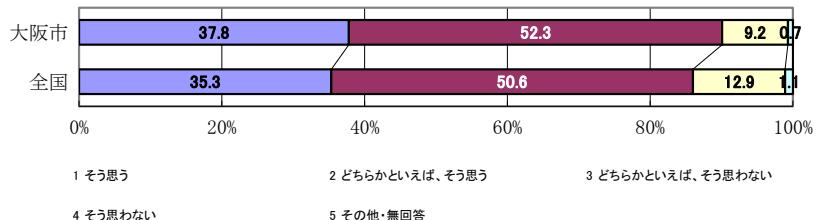
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

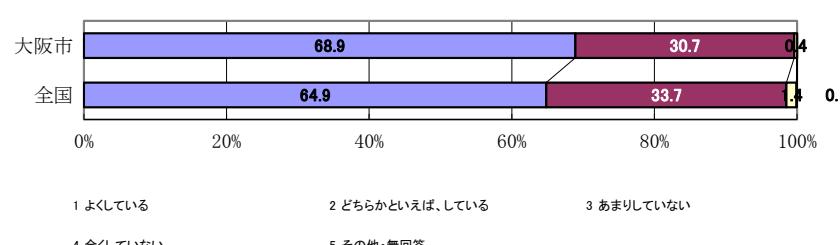
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

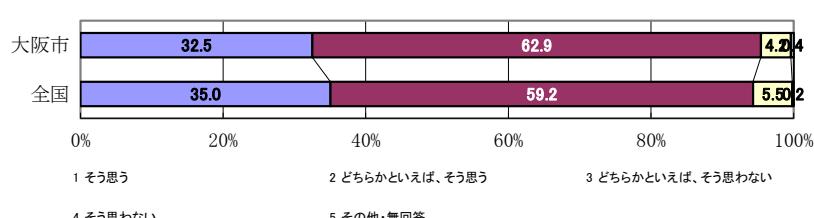
学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

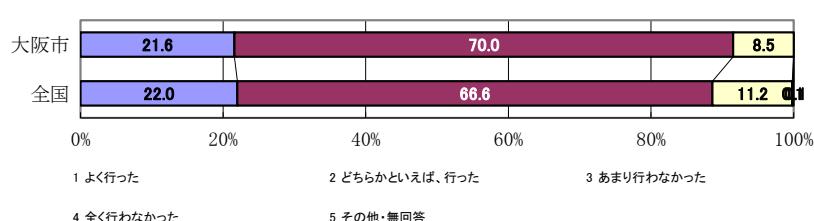
学校 「そう思う」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

学校 「よく行った」を選択



80

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

学校 「よく行った」を選択

